

□平成 30 年度 事務事業評価(平成29年度実施事業事後評価)シート / 平成 31 年度 実施計画調書 ( □新規  拡充 □縮小 □休止・廃止 □現状維持 )

1 事務事業の基本情報 <small>位置付けられている計画等で『その他の計画』が複数ある場合は、代表的なものを1つ記入してください。また、該当する根拠法令及び市条例等が複数ある場合、代表的なものを1～2個記入してください。</small>												
事務事業名	一般事務費			補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (平成 年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分		介護保険特別会計	
担当部	保健福祉部	担当課	高齢福祉課	担当係	認定	係	作成者	土田おる	内線(電話番号)	4240	シート作成日	
位置付けられている計画等	<input type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略			<input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画 (名称: 常総市高齢者プラン)			根拠法令及び市条例等	<input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称: ) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称: ) <input type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称: )				

2 事務事業の目的 <small>当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。</small>															
現状課題	主に認定調査用の公用車は水害前5台あった。うち1台が水害前に故障し廃車、水害で2台水没し、その後配置されたのは1台のまま今日に至る。現在3台で業務を行っているが、調査員は嘱託4名市職員が1名おり、調査時間が重なり公用車が不足する。また、管財所管の公用車は調査日程に合わせて予約することが困難な状況である。さらに3台のうち1台は平成11年登録車(140,000キロ超走行)で老朽化が進んでおり、車検時の修繕料がかさむほか、不具合により事故発生リスクが高まり、調査員や市民に被害を及ぼすことが懸念される。						誰・何を対象に	認定調査用公用車		望ましい状態	要介護認定に必要な調査業務に使用するため、公用車を新規購入し状態良好な公用車を配置することで、調査員の安全を確保すると同時に、故障のリスクや修繕料を抑え、スムーズに認定調査を行うことが住民サービスに繋がると考える。また公用車を4台配置することで、直営調査を増やし、認定の適正化と委託料の削減に繋げることが望ましい。さらに調査の他、保険料徴収や現地確認等にも利用ができ、高齢者の要望に柔軟に対応することが可能となり、業務の円滑な遂行が図れる。				
どのような方法・手順で	①31年度32年度に軽自動車1台ずつ新規購入する。 ②32年度にH11年登録車(140,000キロ超走行)を廃車する。														

3 事務事業の主たる成果指標 <small>数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。</small>												
指標名	認定調査(委託)	単位	件	目標値	70件/月	目標年次	平成 31 年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	公用車を4台配置することで、直営調査を増やし、委託料の削減と認定の適正化に繋げる。			

4 事務事業の実績 ① <small>当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。</small>															
年度	平成27年度				平成28年度				平成29年度						
	業務名				業務名				業務名						
	活動量				活動量				活動量						
事務事業を構成する主な業務	① 認定調査(直営)	1235件			① 認定調査(直営)	1176件			① 認定調査(直営)	1552件					
	② 認定調査(委託)	1105件			② 認定調査(委託)	1346件			② 認定調査(委託)	993件					
	③ 申請件数(新規856件・更新1432件・区変206件)	2494件			③ 申請件数(新規859件・更新1542件・区変236件)	2637件			③ 申請件数(新規877件・更新1504件・区変229件)	2610件					
	④				④				④						
	⑤				⑤				⑤						
	⑥				⑥				⑥						
	⑦				⑦				⑦						
	⑧				⑧				⑧						
	⑨				⑨				⑨						
	⑩				⑩				⑩						
	⑪				⑪				⑪						
	⑫				⑫				⑫						
目標値に対する実績値		92 件		目標値に対する実績値		112 件		目標値に対する実績値		82 件					
決算額	計	4,422,200 円	内訳	特定財源	円	計	5,384,840 円	内訳	特定財源	円	計	3,971,440 円	内訳	特定財源	円
				一般財源	4,422,200 円				一般財源	5,384,840 円				一般財源	3,971,440 円
				(住民一人あたりの行政コスト)	72 円				(住民一人あたりの行政コスト)	89 円				(住民一人あたりの行政コスト)	66 円

5 担当者評価 ② <small>実施したことによる成果や問題点を記入してください。</small>											
成果	成果内容										
	問題点										

6 担当部長及び担当課長評価 ③ <small>担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。</small>											
事務事業の方向性											
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止											
評価理由											

7 実施計画 ④ <small>今後3年間の事業内容について、どのようなことを実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。</small>																																												
年度	平成30年度				平成31年度				平成32年度																																			
事業内容	H28～H30年度の修繕料(H30.10時点)																																											
	<table border="1"> <tr> <th>車名</th> <th>車両番号</th> <th>初度検査年月</th> <th>H28車検</th> <th>H29車検</th> <th>H30車検</th> <th>その他</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td>アルト</td> <td>土浦50つ1897</td> <td>H11年1月</td> <td>45,100</td> <td></td> <td>69,444</td> <td>19,008</td> <td>133,552</td> </tr> <tr> <td>アルト</td> <td>つくば580て651</td> <td>H26年5月</td> <td></td> <td>72,738</td> <td></td> <td>26,784</td> <td>99,522</td> </tr> <tr> <td>アルトバン</td> <td>つくば480く4207</td> <td>H28年2月</td> <td></td> <td>27,702</td> <td></td> <td>15,552</td> <td>43,254</td> </tr> </table>				車名	車両番号	初度検査年月	H28車検	H29車検	H30車検	その他	計	アルト	土浦50つ1897	H11年1月	45,100		69,444	19,008	133,552	アルト	つくば580て651	H26年5月		72,738		26,784	99,522	アルトバン	つくば480く4207	H28年2月		27,702		15,552	43,254	(要支援・要介護認定者数 31年度推計値 3,062人 常総市高齢者プランより)				(要支援・要介護認定者数 32年度推計値 3,168人 常総市高齢者プランより)			
	車名	車両番号	初度検査年月	H28車検	H29車検	H30車検	その他	計																																				
アルト	土浦50つ1897	H11年1月	45,100		69,444	19,008	133,552																																					
アルト	つくば580て651	H26年5月		72,738		26,784	99,522																																					
アルトバン	つくば480く4207	H28年2月		27,702		15,552	43,254																																					
申請件数は26年度以降水害の影響もあり、前年比平均3%程度の伸び率となっていた。29年度においては前年と比べ横ばいであったが一時的なものと思われるため、今後も申請件数の増加が予想される。(要支援・要介護認定者数 30年度推計値2,972人 常総市高齢者プランより)				■申請件数 2,656件(見込み) ■軽自動車1台新規購入 18節 備品購入費 880千円 ■公用車4台 ※No.1897は近隣にのみ使用 ■調査員 嘱託4名・市職員1名 ■調査件数 2,640件(見込み) … ①+②+③=2,640件 ■調査(直営) 嘱託員 1日あたり2件×200日×4名=1,600件…① 市職員 200件×1名=200件…② 70件×12月=840件…③ ■調査(委託) 委託料(1-3-2-1-13 3,360千円)…前年比▲960千円				■申請件数 2,735件(見込み) ■軽自動車1台新規購入 18節 備品購入費 880千円 ■公用車4台→4台(車両入替更新) ※H11年車(No.1897)は車検満了時点で廃車 12節 役務費 20千円 ■調査員 嘱託4名・市職員1～2名 ■調査件数 2,740件(見込み) … ①+②+③=2,740件 ■調査(直営) 嘱託員 1日あたり2件×200日×4名=1,600件…① 市職員 300件×1～2名=300件…② ■調査(委託) 70件×12月=840件…③ 委託料(1-3-2-1-13 3,360千円)…前年同額																																				
■申請件数 2,579件(見込み) ■公用車3台 ■調査員 嘱託4名・市職員1名 ■調査件数 2,600件(見込み) ■調査(直営) 上半期実績 … 714件 (委託) … 435件 ■調査委託料(1-3-2-1-13 4,320千円) 90件×12月×4,000円=4,320,000円								※H30.4月以降更新者の認定有効期間の上限が「24か月」から「36ヶ月」に延長されたため、更新は申請減の見込み。逆に新規・区変は増加の見込み。																																				
予算額	歳出	計		4,320 千円		歳出	計		3,360 千円		歳出	計		3,360 千円																														
		特定財源		千円			特定財源		千円			特定財源		千円																														
	歳入	一般財源		4,320 千円		歳入	一般財源		3,360 千円		歳入	一般財源		3,360 千円																														
	計		4,320 千円			計		3,360 千円			計		3,360 千円																															

8 財務アドバイザーの見解											
---------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

9 行政改革懇談会(市民)の意見											
------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

10 最終評価(行政改革推進本部) ⑤											
事務事業の方向性											
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止											
評価理由											

11 事務事業の改善理由 ⑥ <small>実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止廃止部分もこの欄に記入してください。</small>											
事業内容	調査員5人に対し、水害後は認定係所有の車両が3台のため調査員が調整しながら実施している。本来であれば市が直営で調査しなければならない申請者に対し、外部委託しているのが現状である。認定調査は調査の公平性・中立性を保つためにも多くの調査員が係らない方が望ましいとされている。嘱託職員が使用できる車両を1台増車することで、直営調査の比率を上げ、認定調査の公平性・中立性を保ち、認定調査費用を抑える。										